

	課題分析	授業改善策	改善状況
国語	<p>○問題文を適切に読み取り、回答することに苦手意識をもっている生徒が多い。</p> <p>○既習事項を発展させ深く考えることに課題がある。</p> <p>○グループ活動での取り組み方に偏りがあり、自分の意見を発言できない生徒がいるのが課題である。</p>	<p>○問いが何を聞いているのかを理解し、どのような言葉や単語を求められているのか、考え記述する授業を行う。また、記述後に読み直し、問いに対して正対しているかを確認していく。</p> <p>○既習した問いを発展させ、自ら思考し、表現できるようワーク等を活用していく。</p> <p>○ファシリテーターの役割を果たせるように、発問の工夫を行い、様々な意見を出せるようにする。</p>	
社会	<p>○基礎的・基本的な知識の定着とその活用に個人差がある。</p> <p>○既習事項を生かして文章を書くことが苦手な生徒が多く、思考力・表現力に課題がある。</p> <p>○話し合い活動が苦手な生徒が多く、話し合いが深まらない場面がある。</p>	<p>○毎時間、前時の確認小テストを行い、知識の定着を図る。また、タブレット端末等を活用し、分かりやすい授業を行う。</p> <p>○自分事を意識できる単元を貫く問いをたて、既習事項を活用し、その問いに迫る振り返りを行うことで、思考力・表現力を高める。</p> <p>○ファシリテーターの役割を経験させていくことで、話し合いが深まるようにしていく。</p>	
数学	<p>○数学に苦手意識をもち、知識・技能の能力差が少しずつ出てきている。</p> <p>○発展的な問題や文章の問題など、思考・判断・表現を要する問題になると、既習事項とのつながりや考え方に、苦手意識をもち、解決できない生徒が多くいる。</p>	<p>○習熟に合わせた課題の反復練習を多く取り入れ、基礎基本となる計算力の定着を図る。</p> <p>○小テストや単元テストを取り入れ、課題や単元ごとに習得の確認を行う。</p> <p>○「主体的・対話的な深い学び」の実現に向けて、なぜ？と考える発問を増やし、他者と学び合いながら思考を広げ、好奇心をもって課題に取り組めるようにする。</p>	
理科	<p>○基本的な学習内容は身に付きつつあり、学習に対しても意欲的である。一方で自主的に取り組む学習については意欲的に取り組めない生徒が見られる。</p> <p>○実験後の考察はできるものの、表現する力や分析する力がやや発揮できていない場面がある。</p>	<p>○調べ学習や単元のまとめ学習など個人だけでなく、班での学習を行い学習の内容を共有することで、主体的に学習できる場面を多く設ける。</p> <p>○これまで以上に話し合い活動を増やし、教員側からの思考のヒントも的確に与えることで、多角的に考察できる力を高める。</p>	
音楽	<p>○全体的に、音楽が好きな生徒が多く、意欲的に取り組む生徒が多い。特に、器楽の授業は、練習に一生懸命取り組む姿勢が見られる。音楽用語などを身に付けさせることが課題である。</p> <p>○歌唱は、小学校の時に機会がなかったため、苦手意識が多い生徒が多く、これらを克服させることが課題である。</p>	<p>○調べ学習や、楽典の学習を充実させ、音楽的要素を取り入れた文章作りや、創作、それに伴った演奏ができるような授業作りをしていく。</p> <p>○歌唱の練習では、まずは、「校歌」の練習から行っていく。ペア学習やグループ活動を取り入れながら、技能の習得の向上を目指し、混声合唱に取り組み、仲間と歌う楽しさが感じられるようにしたい。</p>	

美術	<p>○制作の見通しを立て作業することが困難で、作業が遅れる生徒が見られる。</p> <p>○意欲的に制作に取り組むことができていない生徒がいる。</p> <p>○鑑賞において、話し合い活動のあと自分なりの考えをもつことが難しい生徒が多い。</p>	<p>○制作手順や制作日程の確認を作業前に丁寧に行う。必要に応じて個別の声かけを行う。</p> <p>○生徒の興味関心のある教材設定や導入づくりに力を入れる。</p> <p>○自分の考えを周りに共有しやすいよう、タブレット端末等を活用して、気軽に意見を共有できる環境を作る。</p>	
保健体育	<p>○明確な評価規準や目標があると、一生懸命取り組み、仲間と協力して取り組む姿勢が見られる。</p> <p>○運動の得意・不得意の状況や気候によって、運動活動への意欲に変化が見られ、参加の仕方にも顕著に現れる。主体的に活動したり、運動の工夫をしたりして、自己の能力を上げていこうとする姿勢に課題がある。</p>	<p>○目的や最終目標を明確にし、自己の力を伸ばしていく楽しさを感じる工夫をし、運動・スポーツへの関わり方を考える時間を増やしていく。</p> <p>○運動の好き嫌いに関わらず、生徒同士が接する機会を増やし、交流を深めながら、自己の課題を明確にした上で活動できる機会を設定していく。</p>	
技術家庭	<p><b>【技術】</b></p> <p>○実習作業への意欲的な生徒が多い。知識を深める座学への意欲に個人差が大きい。</p> <p><b>【家庭】</b></p> <p>○意欲をもって課題に取り組んでいるが、話し合いから個々への思考を深めることができなかった。</p>	<p><b>【技術】</b></p> <p>○作業に取り組む意欲的な姿勢を評価する。その経験で得た技能が知識につながるよう、毎時間の振り返りを実施する。</p> <p><b>【家庭】</b></p> <p>○課題設定を工夫し、生徒達の思考が深まるような時間を確保し、流れを明確にして進め、自ら課題解決へ誘えるよう授業を組み立てる。机間指導を意識的に増やす。</p>	
外国語	<p>○1年次に4線を使い英語を書く練習をしてこなかったためアルファベットを綺麗に書くことが定着していない。1学期期末テストでも基本的なアルファベットの書き方や単語間のスペースの有無などで減点されるケースが多かった。</p> <p>○ペアワークやグループワークの際に積極的に活動に取り組む生徒と消極的な生徒に二極化している。</p>	<p>○授業中に扱ったワークシートやノートを定期的に回収し添削を行い、正しいアルファベットや文の書き方の定着を図る。</p> <p>○デモンストレーションを必ず行い、活動の流れを明示することでスムーズな活動への導入を図る。またグループ活動の際は一人一人の生徒に役割を与え、協力意識や責任感に働きかける。</p>	

